

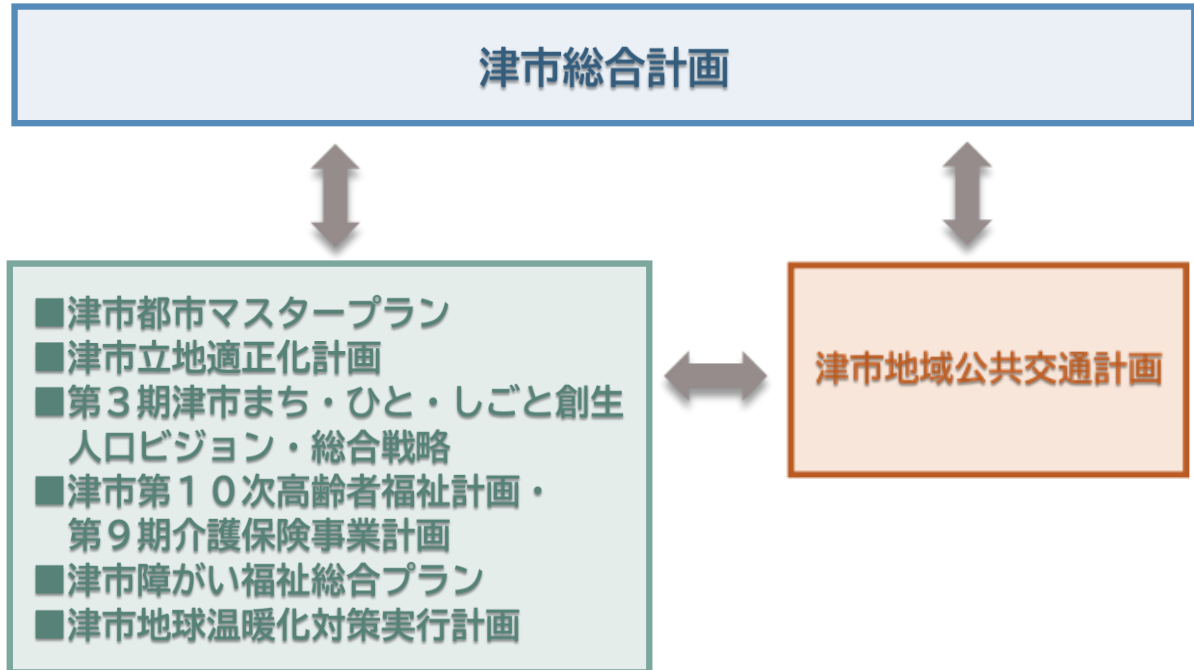
津市地域公共交通計画（案）の概要

■はじめに（P1～2）

【計画策定の背景・目的】

令和8年3月末をもって終了する「第2次津市地域公共交通網形成計画」の次期計画として、本市における持続可能な公共交通網の形成に向け、その実現のための基本方針や具体的な取組等を共有するため、策定します。

【計画の位置付け】



第1章 津市の現状（P3～11）

【地勢】711.18 km²と広大で、多様な地形

【人口】減少が続いており、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（15歳未満）共に減少している。（東部の市街地に集中し、西部の平野部や山間部では低密度に分散）

【観光】南北約20kmにわたり続く海岸線や中伊勢温泉郷など豊かな自然環境に恵まれ、近年では津城や国宝指定を受けた高田本山専修寺等、歴史的資源の持つ価値が改めて評価されている。

【地域公共交通の現状】

[鉄道] JR（紀勢本線及び名松線）、近鉄（名古屋線及び大阪線）、伊勢鉄道（伊勢線）

[乗合バス] 高速路線バス、一般路線バス、自主運行バス（廃止代替バス）、津市コミュニティバス、ぐるっと・つーバス及び地域住民運営主体型コミュニティ交通

[タクシー] 津市と松阪市の一部（旧嬉野町、旧三雲町）で「津交通圏」を形成

[高速船] 津なぎさまち～中部国際空港間を約45分で結ぶ高速船を運航

第2章 上位・関連計画（P12～20）

【上位計画】 津市総合計画

【関連計画】 津市都市マスタープラン、津市立地適正化計画、第3期津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略、津市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、津市障がい福祉総合プラン、津市地球温暖化対策実行計画

第3章 地域公共交通の課題（P21～48）

調査結果及びデータ分析による検証等を基に、津市地域公共交通の課題を4つに分類しました。

人口減少・高齢化に応じた 地域公共交通のあり方	■ 高齢者にとって利便性の高い公共交通網の形成 ■ 利用状況に応じた効率的なバス路線網の形成 ■ 多様な移動サービスの活用
地域特性を踏まえた 地域公共交通のあり方	■ 地域特性に応じた公共交通網の形成 ■ 地域における 実態に合わせたサービス内容の見直し ■ 市街地の交通不便地区への対応 ■ 様々な外出需要に対応できる公共交通網の維持 ■ 交通結節点における利便性向上
持続可能な地域公共 交通のあり方	■ 運賃収入の減少及び運行事業費の増加 による収支率の悪化への対応 ■ 安定的、継続的な公共交通網の維持 ■ 実態に合ったサービス水準の見直し ■ 市民・交通事業者・行政の連携と役割分担
社会経済情勢・時代の変化に 応じた地域公共交通のあり方	■ 住民・利用者に対する公共交通の周知・啓発 ■ 運転手不足解消に向けた各種取り組み ■ 環境負荷低減への取り組み ■ 新たな生活様式に合わせた地域公共 交通のあり方 ■ 新たな制度・技術や情報通信技術（ICT） を活用した交通サービスの検討

第4章 基本的な方針、計画の目標（P49～58）

【計画の目指すべき将来像】

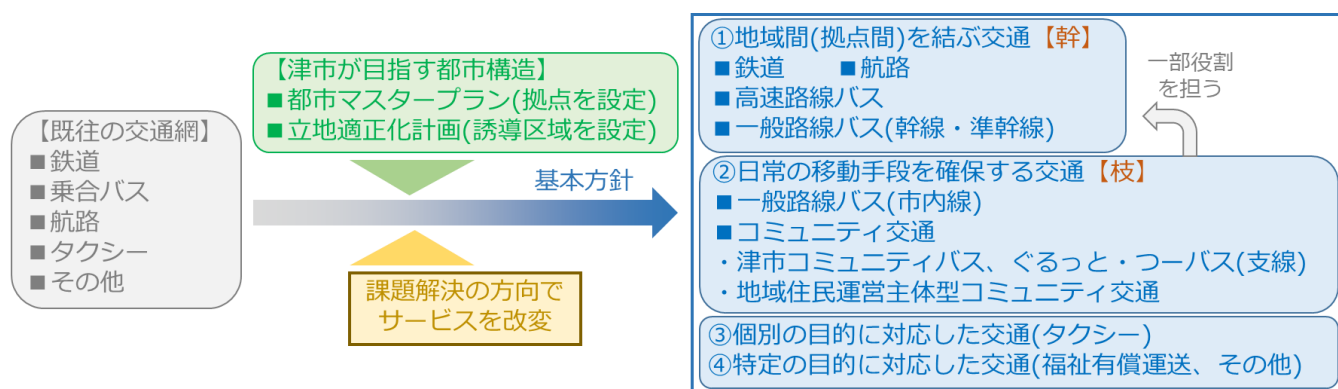
快適で幸せな暮らしを多様な移動サービスで支えるまち

【計画の区域】 津市全域

【計画の期間】 令和8年4月から令和13年3月まで（5年間）

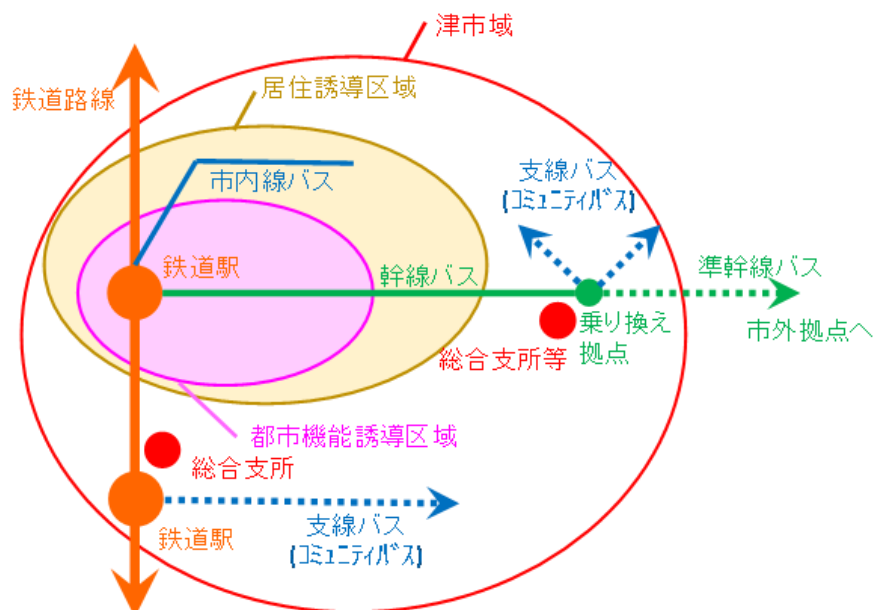
【津市の公共交通網の考え方】

木の「幹」に該当する地域間（市外と拠点、拠点間）を結ぶ交通、木の「枝」に該当する日常の移動手段を確保する交通、個別の目的に対応した交通、特定の目的に対応した交通により、津市の公共交通網を形成します。



【津市公共交通網形成の基本的な考え方】

- 鉄道（JR・近鉄・伊勢鉄道）
- 乗合バス（乗合タクシー）
- 一般路線バス（幹線・準幹線・市内線）
- コミュニティ交通（津市コミュニティバス等）
- 福祉有償運送
- スクールバス
- 航路（津エアポートライン）
- タクシー
- 各種送迎輸送

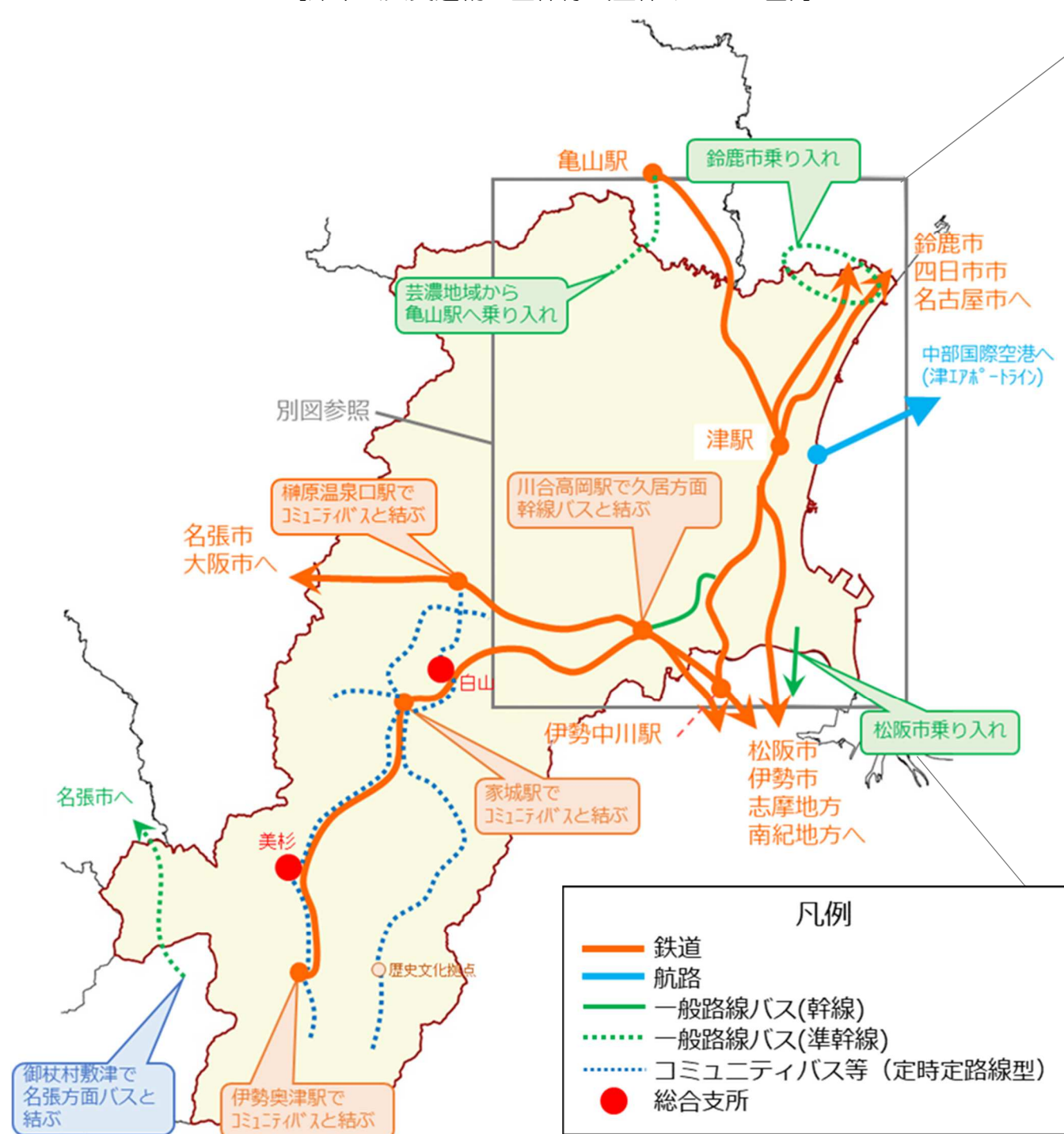


【津市公共交通の役割分担イメージ図】

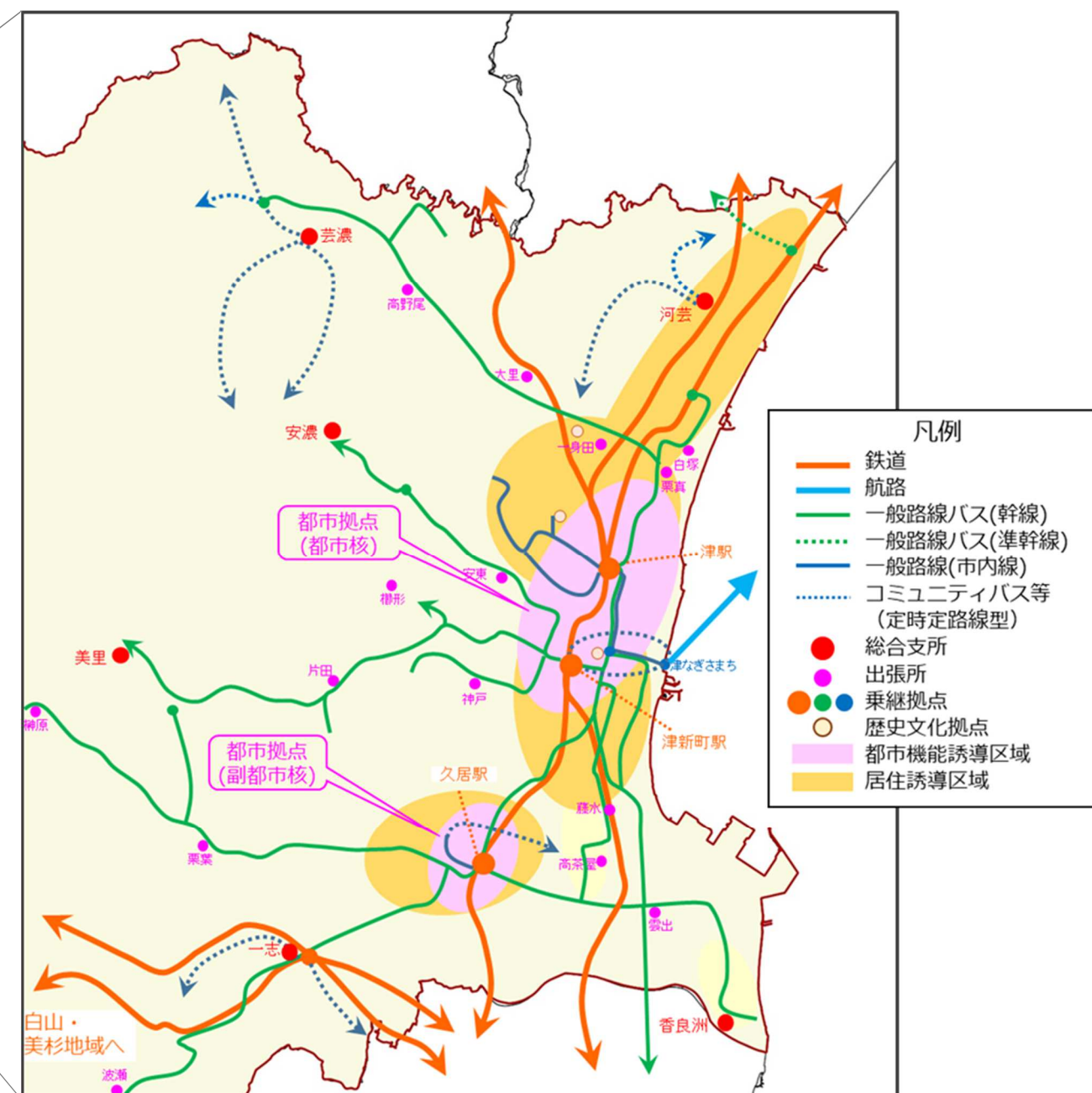
【津市の公共交通網の全体像】

津市における拠点の考え方、交通機関ごとの役割分担を踏まえた上で、津市の公共交通網の全体像を次に示します。

〔津市公共交通網の全体像（全体イメージ図）〕



〔津市公共交通網の全体像（都市拠点を中心としたイメージ図）〕



※ 図は、鉄道、航路及び一般路線バス、コミュニティバス等について、経由する都市拠点や地域拠点、乗継拠点等の役割や関係性がわかるようにイメージとして表したものです。

【基本方針、目標及び取組】

基本方針	目標	取組
基本方針① 利便性の高い公共交通網の確立	【目標1-(1)】 利便性の高い交通サービスの維持	○鉄道の利便性向上の要請 ○航路の維持・利便性向上 ○一般路線バス（幹線・準幹線・市内線）の維持 ○タクシーの維持
	【目標1-(2)】 乗降場所における利用環境の整備	○駅やバス停等における乗降環境の充実（情報提供を含む） ○バリアフリーに向けた取組の促進 ○パーク＆ライド、サイクル＆ライドの実施 ○駅やバス停等における情報提供の充実（多言語対応含む）
	【目標1-(3)】 まちづくりと連携した取組の実施	○都市核における運行バス路線の利便性向上 ○津駅周辺の基盤整備の取組の実施 ○大門・丸之内地区未来ビジョンの実現に向けた取組の実施
基本方針② 地域の暮らしを支える公共交通網の形成	【目標2-(1)】 日常生活に必要な移動手段の確保	○津市コミュニティバス等（支線）の維持 ○津市コミュニティバスの再編 ○自主運行バス（廃止代替バス）の集約化等 ○医療施設や商業施設への乗り入れ ○運転免許証返納に対する支援
	【目標2-(2)】 多様な移動手段の活用	○地域住民主体型のコミュニティ交通の推進 ○福祉、教育等との連携（福祉有償運送、スクールバス等）
基本方針③ 持続可能な公共交通の実現	【目標3-(1)】 公共交通の担い手確保	○交通事業者による運転手確保の実施 ○行政による運転手募集のための情報提供
	【目標3-(2)】 公共交通の利用促進	○市民に対する意識啓発活動の実施 ○公共交通に親しむためのイベントの実施 ○体系的な公共交通情報の発信 ○JR名松線の活性化 ○運行情報の公開（リアルタイム） ○公共交通データの標準化及びオープン化
	【目標3-(3)】 共助の意識の醸成	○地域別の「地域公共交通あり方検討会」等の開催 ○関係機関との連携の取組の実施 ○運賃外収入の確保に向けた取組の実施
	【目標3-(4)】 効果的・効率化な運行（運航）	○【再掲】航路の維持・利便性の向上 ○【再掲】一般路線バス（幹線・準幹線・市内線）の維持 ○【再掲】津市コミュニティバス等（支線）の維持 ○自主運行バス（廃止代替バス）の見直し
基本方針④ 将来を見据えた公共交通への取組の推進	【目標4-(1)】 環境負荷の軽減	○環境対応車の導入 ○【再掲】市民に対する意識啓発活動の実施
	【目標4-(2)】 情報通信技術（ICT）や新技術・制度の活用	○ICカード等電子決済の拡充 ○日本版ライドシェアの導入可能性調査 ○次世代型移動手段の導入可能性調査 ○モビリティデータの共有手法の検討

第5章 目標を達成するために実施する取組（P59～94）

第4章で設定した目標を達成するために実施する事業を、以下のとおり設定しました。

取組一覧	実施年度					実施主体
	R8	R9	R10	R11	R12	
【目標1-(1)】利便性の高い交通サービスの維持						
1) 鉄道の利便性向上の要請（P60）			利便性向上に向けた働きかけ			市・県・交通事業者
2) 航路の維持・利便性向上（P60、61）			ダイヤ編成等の見直し、新造船に向けた検討等			市・県・交通事業者
3) 一般路線バス(幹線・準幹線・市内線)の維持 (P61～63)			補助を活用した路線の維持等			市・県・交通事業者
4) タクシーの維持（P64）			事業者と連携した情報提供等			市・県・交通事業者
【目標1-(2)】乗降場所における利用環境の整備						
1) 駅やバス停等における乗降環境の充実(情報提供を含む)（P65）			乗継ぎを考慮したダイヤ設定及び待合環境等の整備			市・県・交通事業者
2) バリアフリーに向けた取組の促進（P65）			駅や車両等におけるバリアフリー化の整備			市・県・交通事業者
3) パーク&ライド、サイクル&ライドの実施 (P66、67)			シャトルバスの運行や自転車等駐車場の再編等			市・交通事業者
4) 駅やバス停等における情報提供の充実（多言語対応含む）（P67）			乗換案内や多言語対応等による運行情報の提供			交通事業者
【目標1-(3)】まちづくりと連携した取組の実施						
1) 都市核における運行バス路線の利便性向上 (P68、69)			「スムーズに乗れる」環境の構築			市・県・国・交通事業者
2) 津駅周辺の基盤整備の取組の実施 (P69～71)			整備の実施（津駅西口駅前広場・自転車等駐車場） 民間事業者による自主事業化を目指す（シェアサイクル）			市 民間事業者
3) 大門・丸之内地区未来ビジョンの実現に向けた取組の実施（P71）			取組の展開をめざす			エリアプラットフォーム・市・民間事業者等
【目標2-(1)】日常生活に必要な移動手段の確保						
1) 津市コミュニティバス等(支線)の維持（P72）			日常生活において必要な移動手段の確保			市・交通事業者
2) 津市コミュニティバスの再編（P72～74）			リクエスト型（区域運行）の導入等による再編			市・交通事業者
3) 自主運行バス(廃止代替バス)の集約化等 (P75)			利用実態や地域特性等を踏まえた運行の集約化等			市・交通事業者
4) 医療施設や商業施設への乗り入れ（P75）			移動ニーズに応じた各種施設への乗り入れ			市・交通事業者
5) 運転免許証返納に対する支援（P76、77）			運転免許証自主返納者割引の実施等			市・県・交通事業者
【目標2-(2)】多様な移動手段の活用						
1) 地域住民主体型のコミュニティ交通の推進 (P78)			「地域住民運営主体型コミュニティ交通事業補助金」を活用した支援 相談・助言等の支援 公共ライドシェア支援の仕組みの検討・実施			市・県・交通事業者 ・地域住民・民間事業者
2) 福祉・教育等との連携(福祉有償運送、スクールバス等)（P79）			福祉・教育等との役割分担による移動手段の確保			市・交通事業者等

取組一覧	実施年度					実施主体
	R8	R9	R10	R11	R12	
【目標3-(1)】公共交通の担い手確保						
1) 交通事業者による運転手確保の実施（P80）	免許取得支援を含む積極的な採用活動の実施					交通事業者
2) 行政による運転手募集のための情報提供（P80）	情報提供や就職説明会開催等の取組の実施					市・県・国
【目標3-(2)】公共交通の利用促進						
1) 市民に対する意識啓発活動の実施（P81）	関係機関と連携したモビリティ・マネジメントの実施					市・交通事業者等
2) 公共交通に親しむためのイベントの実施（P82）	津まつりでの利用促進活動やバスの乗り方教室開催等					市・交通事業者等
3) 体系的な公共交通情報の発信（P83）	津市ホームページにおける情報発信					市
4) JR名松線の活性化（P83、84）	市や地域住民等が連携した活性化の取組の実施					市・県・交通事業者・地域住民
5) 運行情報の公開(リアルタイム)（P84）	スマートフォンを使ったリアルタイムデータの提供支援					交通事業者
6) 公共交通データの標準化及びオープン化（P85）	公共交通データ公開による経路検索情報の充実					市・交通事業者
【目標3-(3)】共助の意識の醸成						
1) 地域別の「地域公共交通あり方検討会」等の開催（P86）	定期的な開催による地域の意見や要望の聴取					市
2) 関係機関との連携の取組の実施（P86）	持続可能な公共交通の実現に向けた関係機関との連携					市・県・国・交通事業者・民間事業者等
3) 運賃外収入の確保に向けた取組の実施（P87）	広告収入の確保や協賛企業・団体の募集等					市・交通事業者
【目標3-(4)】効果的・効率的な運行(運航)						
1) 【再掲】航路の維持・利便性向上（P88）	効果的・効率的なダイヤ編成への見直し等					市・県・交通事業者
2) 【再掲】一般路線バス(幹線・準幹線・市内線)の維持（P88）	路線の集約化に際しての代替手段の検討等					市・県・交通事業者
3) 【再掲】津市コミュニティバス等(支線)の維持（P88）	移動手段確保及び鉄道や一般路線バスへの接続					市・交通事業者
4) 自主運行バス(廃止代替バス)の見直し（P88）	他路線への集約等への見直し					市・交通事業者
【目標4-(1)】環境負荷の軽減						
1) 環境対応車の導入（P89）	環境負荷の小さい車両の導入					市・県・国・交通事業者
2) 【再掲】市民に対する意識啓発活動の実施（P90）	公共交通の利用促進に向けた取組の検討・実施					市・交通事業者等
【目標4-(2)】情報通信技術(ICT)や新技術・制度の活用						
1) ICカード等電子決済の拡充（P90）	交通系ICカード等の電子決済拡充の促進					市・県・国・交通事業者
2) 日本版ライドシェアの導入可能性調査（P90）	本市への導入可能性を含む調査・研究					市・県・交通事業者
3) 次世代型移動手段の導入可能性調査（P91）	自動運転の導入可能性の検討					市・県・交通事業者
4) モビリティ・データの共有手法の検討（P91、92）	公共交通実態把握に向けたデータ共有手法の検討					市・交通事業者

第6章 計画の達成状況の評価（P95～100）

本計画で目指すべき将来像である「快適で幸せな暮らしを多様な移動サービスで支えるまち」の具現化状況を測る数値目標を、以下のとおり定めます。

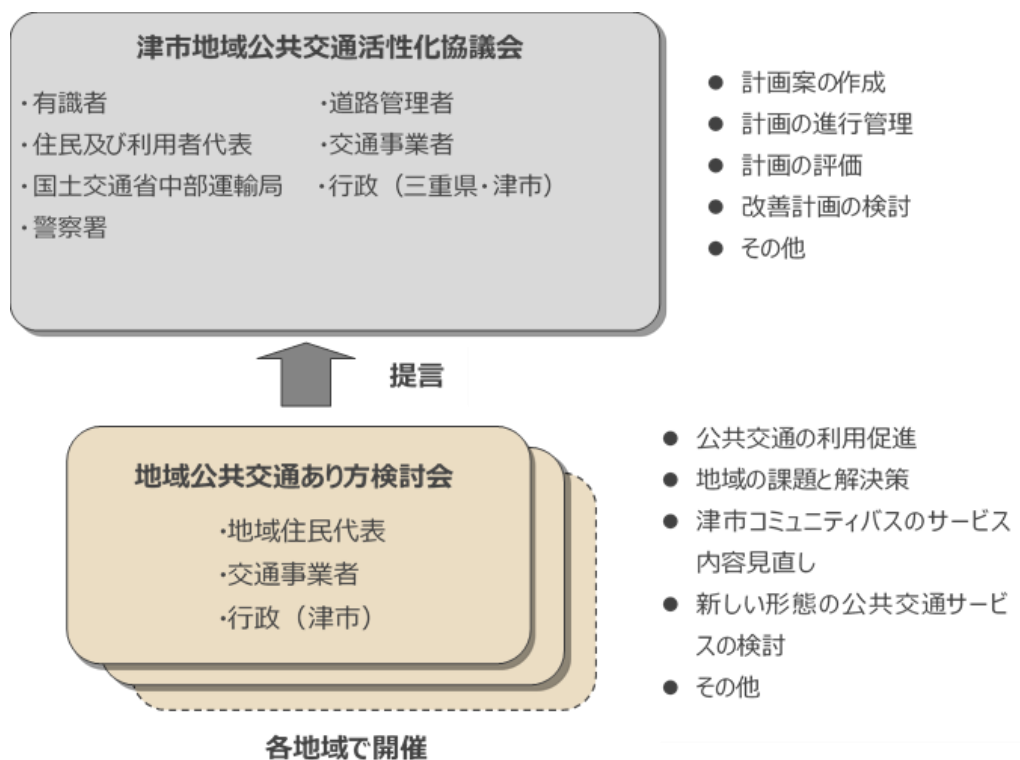
※ 満足度の点数は、以下の計算により算出

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 10 + \text{「やや満足」} \times 5 + \text{「やや不満」} \times (-5) + \text{「不満」} \times (-10)}{\text{「無回答」を除いた回答数}$$

【計画の達成度を示す数値目標】

評価項目		令和5年度 調査結果の数値	数値目標
公共交通に関する 市政の満足度	全体	-0.51	+0.02

【計画を推進するための体制】



【進捗管理】PDCAサイクルによる管理（年間標準スケジュール）

